

第2期 八王子市文化芸術ビジョン

令和8年度～令和15年度（2026年度～2033年度）

概要版

令和7年(2025年)12月

八王子市

策定の趣旨

文化芸術は、創造性や豊かな人間性を育むとともに、日々の生活に彩りや豊かさをもたらしてくれます。近年では、デジタル技術の進展に伴い、新たな表現方法や鑑賞方法が生まれるなど、文化芸術を取り巻く環境に様々な変化が起きているほか、本市においても、令和2年（2020年）に八王子の歴史と伝統文化を紡ぐストーリー「霊気満山 高尾山」が日本遺産に認定されるなど、八王子市ならではの新たな文化的資源が生まれています。こうした社会情勢や環境の変化などを踏まえて、本市における文化芸術政策の将来像や取組を示す新たな計画として、「第2期八王子市文化芸術ビジョン」を策定するものです。

計画期間

令和8年度（2026年度）～令和15年度（2033年度）までの8年間とします。

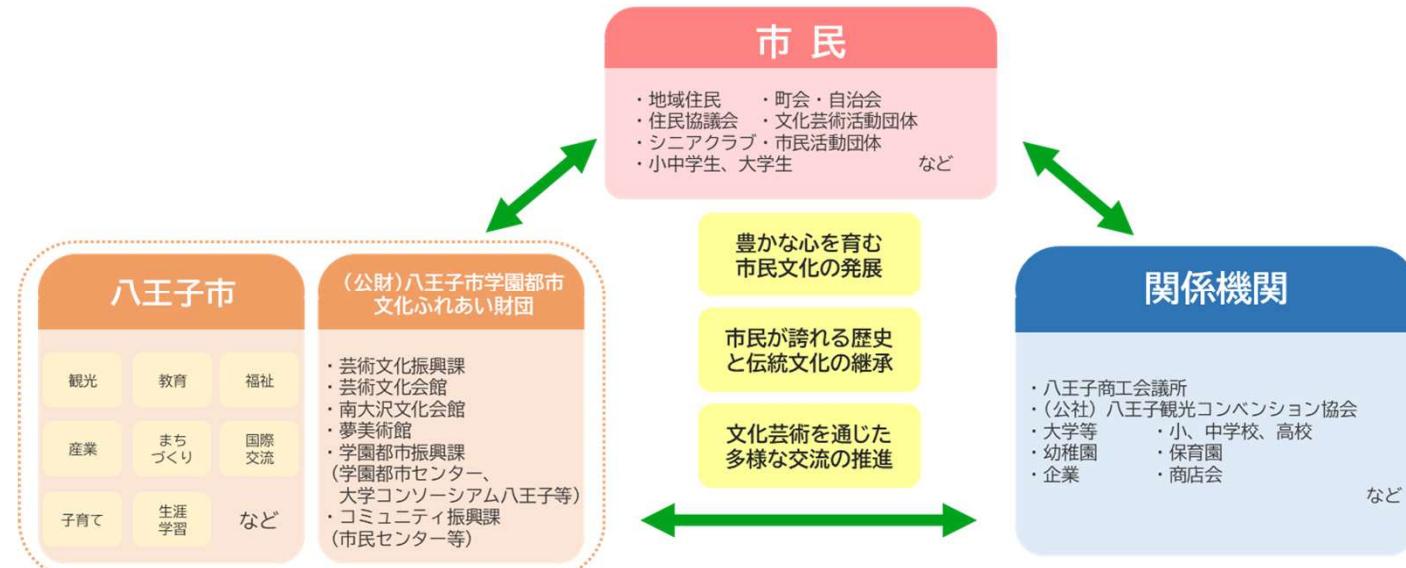
進行管理

本ビジョンを実効性のあるものとするために、設定した指標の進捗状況を管理するとともに、P（PLAN：計画）、D（DO：実行）、C（CHECK：評価）、A（ACTION：改善）のマネジメントサイクルに基づき点検・評価します。進捗状況や評価結果は学識経験者や市民等で構成される「八王子市文化芸術振興評議会」で意見を聴取し、検証、見直し、改善を図ります。

推進体制

市は、文化芸術活動を行う市民の自主性を十分に尊重し、文化芸術の振興を図ります。

また、市、（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団、大学等、学生、企業などの多様な主体と一体となってビジョンを推進していきます。



第2期八王子市文化芸術ビジョンの全体像

基本理念

文化芸術が身近にあり、豊かで潤いのある生活を実現するまち 八王子

目指す姿

豊かな心を育む
市民文化の発展

市民が誇れる歴史
と伝統文化の継承

文化芸術を通じた
多様な交流の推進

文化芸術がもっと身近になるための5つのこと

文化芸術活動を ささえる

- 1 誰もが文化芸術活動の成果を発表できる機会の充実
- 2 市や関係機関、企業などと連携した多様な文化芸術活動の推進

未来に向けて そだてる

- 1 子どもたちが多彩な文化芸術に触れる機会の提供
- 2 文化芸術活動に気軽に参加できるきっかけづくり
- 3 歴史や伝統文化を次世代に保存・継承する取組の推進
- 4 文化芸術活動を支える支援者の発掘・育成

良さ・楽しさを つたえる

- 1 文化芸術に対する理解を深め関心を高める情報発信の展開
- 2 八王子独自の文化的魅力を発信する取組の推進
- 3 デジタル技術を用いた多様な表現方法の活用

観たい・聴きたいに こたえる

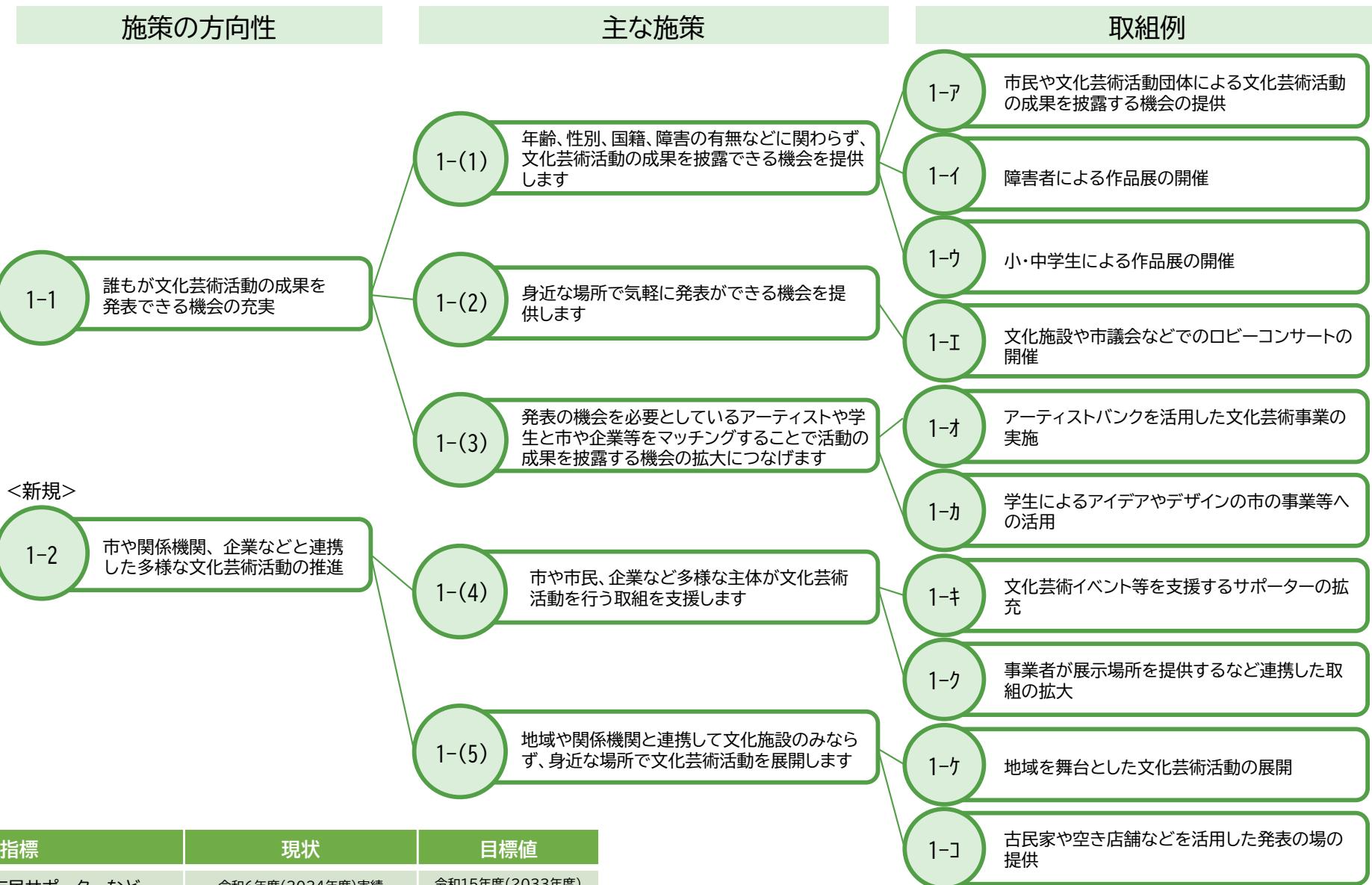
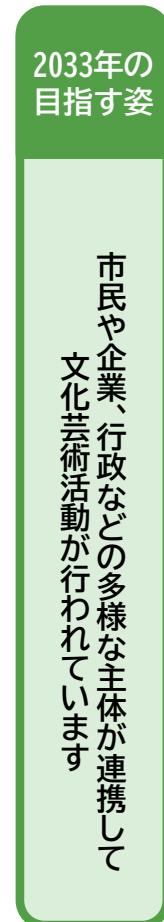
- 1 文化施設の適切な管理・整備
- 2 身近な場所で文化芸術を楽しめる取組の充実
- 3 八王子の独自の文化的資源を活用した取組の推進

文化芸術がもたらす価値を ひろげる

- 1 文化芸術を活かしたまちづくりに資する取組の充実
- 2 文化芸術を通じた様々な交流によるまちの魅力の向上
- 3 アーティストなどによる文化芸術やデザインを切り口とした地域の課題解決につながる取組の推進

2033年の目指す姿と主な施策と指標

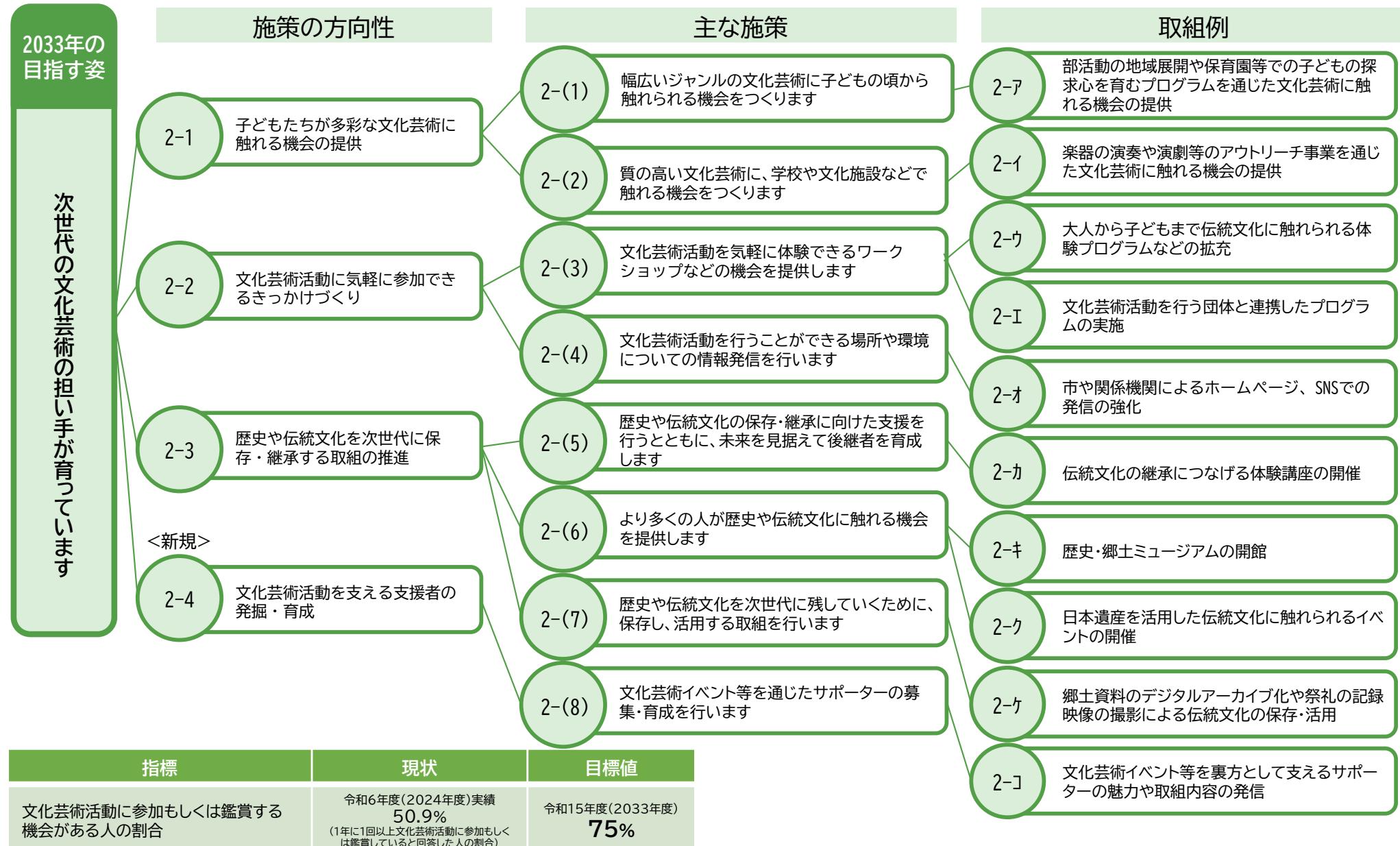
方向性1 文化芸術活動を「ささえる」



指標	現状	目標値
八王子芸術祭の市民サポーターなど文化芸術活動を支えている人の人数	令和6年度(2024年度)実績 716人	令和15年度(2033年度) 1,400人

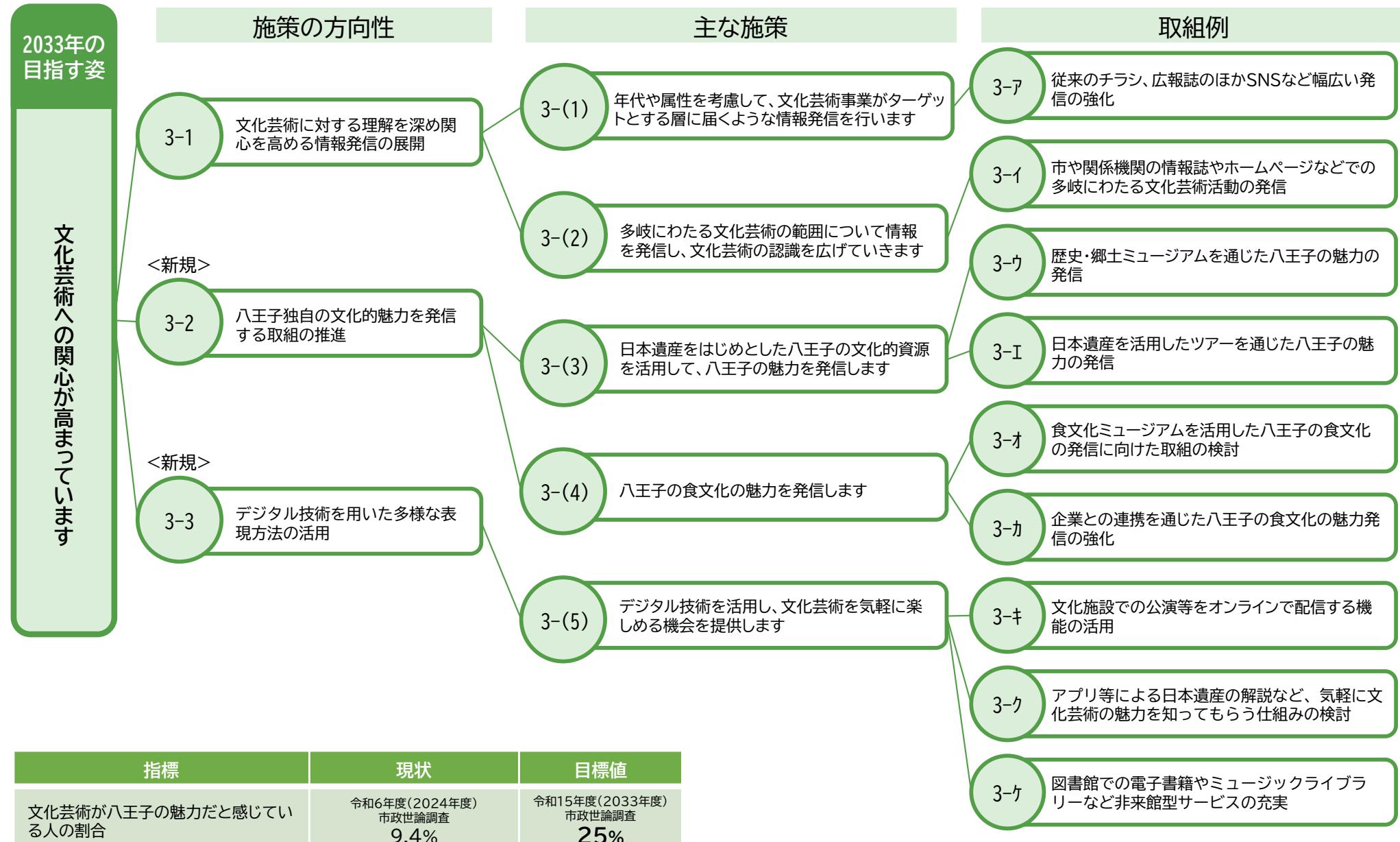
2033年の目指す姿と主な施策と指標

方向性2 未来に向けて「そだてる」



2033年の目指す姿と主な施策と指標

方向性3 良さ・楽しさを「つたえる」



2033年の目指す姿と主な施策と指標

方向性4

観たい・聴きたいに「こたえる」

2033年の
目指す姿

質が
高く多彩な文化芸術に触れて
います

施策の方向性

4-1 文化施設の適切な管理・整備

4-2 身近な場所で文化芸術を楽しむ取組の充実

<新規>
4-3 八王子の独自の文化的資源を活用した取組の推進

主な施策

4-(1)

質の高い公演や展示が鑑賞でき、また創作活動や練習などができるよう、文化施設の適切な管理・運営を行います

4-(2)

誰でも安心して利用できるよう、文化施設の改修等を進めます

4-(3)

文化施設に限らず身近な地域で多様な文化芸術に触れられる機会を提供します

4-(4)

初めての人でも文化芸術を気軽に楽しめる機会を創出します

4-(5)

八王子の伝統文化に触れられる機会を提供します

4-(6)

八王子の食文化に触れられる機会を提供します

取組例

4-ア

文化施設に関して専門的なノウハウを有する指定管理者による管理・運営

4-イ

文化施設の適切な改修工事の実施

4-ウ

身近な地域に出向いて様々な文化芸術事業を展開

4-イ

公園などで読書を楽しめる環境や機会の提供

4-オ

市内各所に設置している彫刻の維持管理を通じた彫刻のまちづくり事業の実施

4-カ

アプリを活用し、日本遺産などの文化資源を解説する取組の強化

4-キ

伝統文化に関するワークショップなどの体験機会の充実

4-ク

歴史・郷土ミュージアムにおける体験・鑑賞機会の創出

4-ケ

学校や保育園、幼稚園等での給食において八王子の食文化に触れられる機会の拡充

指標

現状

目標値

文化芸術イベント及び文化芸術関連施設への来場者数

令和6年度(2024年度)実績
1,205,751人

令和15年度(2033年度)
200万人

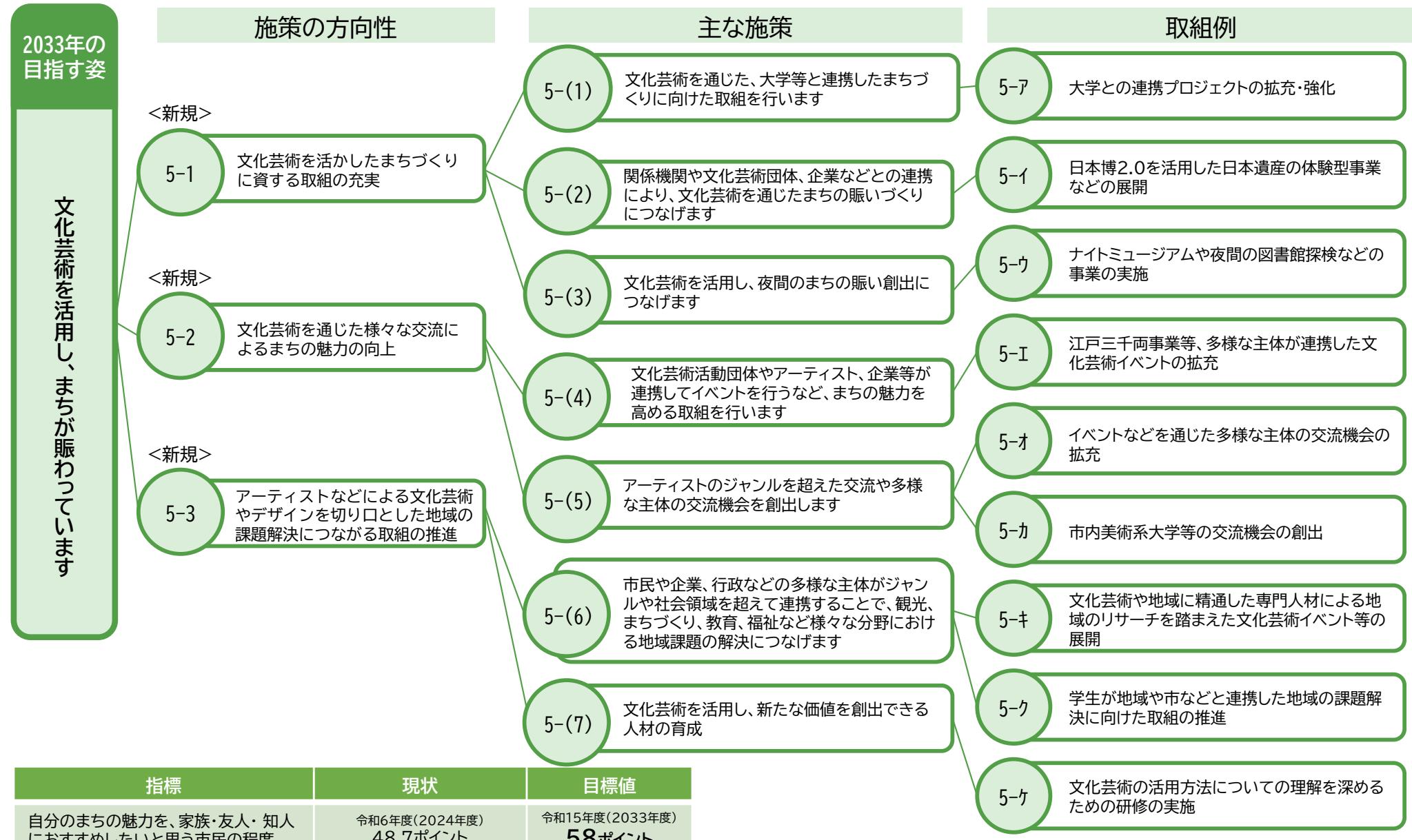
2033年の目指す姿と主な施策と指標

方向性5

文化芸術がもたらす価値を「ひろげる」

2033年の
目指す姿

文化芸術を活用し、まちが賑わっています



指標

現状

目標値

自分のまちの魅力を、家族・友人・知人におすすめしたいと思う市民の程度

令和6年度(2024年度)
48.7ポイント

令和15年度(2033年度)
58ポイント